

認知機能障害

って何?

第二北山病院 リハビリテーション部作業療法科 課長補佐 松井 孝至

認知機能とは、記憶、思考、理解、計算、学習、言語、判断などの知的な能力を指します。統合失調症では、約8割の方が何かしらの認知機能の障害がみられ、生活・社会活動全般に支障をきたしています。

例えば、

『本をじっくり読んだり、テレビを集中して見ることができない』、

『自己中心的な発言が多くもめごとを起こす』
といったことが起きていませんか？



- ☑ 読書ができない... → 注意力・集中力の低下
- ☑ 約束をすっぽかす... → 記憶力の低下
- ☑ 作業が遅い... → 運動(処理)速度の低下
- ☑ 段取りが悪い... → ワーキングメモリー・計画性の低下
- ☑ よく誤解する... → メタ認知能力の低下
- ☑ 自己中... → 共感力の低下

もしかすると…脳の機能が低下し、
認知機能障害が起きているのかもしれない。

統合失調症の認知機能障害は、認知症のそれと違って改善する見込みが大きいと言われることがあります。これらの認知機能を改善・修正することが、就労や就労の継続、日常生活の安定、対人技能の向上につながります。認知機能を改善するトレーニングには、目的とするものによっていくつか種類があります。第二北山病院の作業療法(O.T)プログラムでは、**メタ認知トレーニング(MCT)**を行っています。

